



プレスリリース

速報版

GENIVI アライアンス、ラスベガスでコネクテッド・カー・テクノロジーを紹介

アライアンスがコンシューマー・テレマティクス・ショーの基調演説、CES のパネル討論、トランプ・インターナショナル・ホテルで開催の第 5 回メンバーショーケースで GENIVI の「cars on the road」を披露

米カリフォルニア州サンラモン、2015 年 12 月 21 日 – 規格化されたオープンソース車載インフォテインメント(IVI)ソフトウェアの広範な採用を促進する自動車業界団体、[GENIVI アライアンス](#)は、ラスベガスで 1 月 5 日から 7 日まで開催される [CES 2016](#) 期間中の一連の業界イベントを通じて、最新のコネクテッド・カー・テクノロジーを紹介する。

GENIVI アライアンスの会長兼ジャガー・ランドローバー (JLR) 未来インフォテインメント本部長のマット・ジョーンズ氏が 1 月 5 日、リオ・ラスベガスでの[コンシューマー・テレマティクス・ショー](#)の基調講演でこのイベントをキックオフする。ジョーンズ氏は講演で、JLR および GENIVI アライアンス加盟社の努力がコネクテッド・カーばかりか、未来プレーヤーのエコシステム開拓も先導している現況について論じる。

GENIVI は SAE インターナショナルと提携し、CES 初日の 1 月 6 日午前、タイムリーなサイバーセキュリティのテーマを中心に 2 つのパネル討論をリードする。CES の「[Connect2Vehicle](#)」トラックの一部として、第 1 パネル「Connected Cars – A Landscape Fraught with Peril (危険に満ちた光景のコネクテッド・カー)」は、コネクテッド・カーがいかにサイバー犯罪の主要な標的になっているかを探り、今や高度なコネクテッド・カーの増大する課題と脅威を扱う。第 2 パネル「Automotive Security Solutions – Full of Promise (前途有



望な自動車セキュリティー・ソリューション)は、より安全かつセキュアな自動車および運転体験を提供できる既存・新興テクノロジーについて討議する。

GENIVIは1月6、7の両日、トランプ・インターナショナル・ホテルに世界中の利害関係者を迎えて5年連続で、[GENIVI CES 2016 デモンストレーション・ショーケース](#)を開催する。25社を超える加盟社は、大手IVIサプライヤーによる市販製品の広範なGENIVIテクノロジー採用を展示する。

GENIVIは世界の「on the road」カーの継続的採用を享受

自動車メーカーがGENIVI提供品の技術・経済価値を確信するに伴い、グローバルOEMのGENIVI製品に対する関心および採用が急成長している。GENIVIテクノロジーのLinuxベースIVIシステムは現在、BMW、現代、ジャガー・ランドローバー、スズキ、ボルボなど5大陸の自動車に採用され、2016年にはさらにOEM2社が導入する予定である。

グローバルOEMメンバーも増加している。中国のGreat Wall Motors(長城汽車)と台湾のChina Motor Corporation(中華汽車)が最近アライアンスに加わり、OEMメンバーは14社になった。

GENIVIがオンラインでソリューション・カタログを公開

GENIVIがLinuxおよびオープンソースのソフトウェアを商用IVIソリューションの代替要素として導入して数年が経過、市場はGENIVIソリューションを使用するIVI製品およびサービスを広範に活用してきた。その結果、GENIVIはオンラインのソリューション・カタログ(<http://genivi.org/solutions-catalog>)を作り、世界のあらゆる主要自動車生産地域にある多数のサプライヤーから入手できる多くの製品およびサービスに関する情報を自動車メーカーおよびそのサプライヤーに提供している。GENIVIソリューションのカテゴリーは完全な「ブラックボックス」またはカスタマイズされたソリューションからオペレーティングシステム・プラットフォームや個々のIVIソフトウェア・コンポーネントにまでわたる。



コネクテッド・カーの中核を占める GENIVI

GENIVI の Linux をベースにした「オープン」技術がコネクテッド車両の中核を占めことに伴い、アライアンスは真のコネクテッド車両の可能性はコネクティビティーだけでなく、自動車・その他のデバイス、サービス、その他の自動車との間で容易で確実、かつ安全な方法によるデータ交換に依存していることに気付いた。その結果、GENIVI は Remote Vehicle Interaction (RVI) Expert Group を結成、このオープンソース・テクノロジーを向上させ、幅広い GENIVI のステークホルダーおよびコントリビューターへのアクセスを拡大した。

このグループは、RVI がコネクテッド・カー・プロジェクトにとって安全で信頼性があり、かつ実証済みテクノロジーの選択肢であると自動車業界に受け入れられることを目標に掲げ、疎結合のピアツーピア・ネットワークにおいて認証、許可、検索、サービス間のデータ交換に対処できるオープンソース・テクノロジーを礎に活動している。RVI テクノロジーは、遠隔データロギング、セキュアなソフトウェア・オーバー・ジ・エア（OTA）アップデート、室温調節などの特定の車載機能のスマートフォン・アプリ・コントロールを含め、コネクテッド・カーには不可欠である。

GENIVI は再利用可能なソフトウェアをイノベーションのプラットフォームへ拡張

GENIVI は 2015 年前半、初めての GENIVI Demo Platform (GDP) を公開、このプラットフォームは GENIVI のソフトウェアおよび設計を具体的かつライブで技術実証ができる。これはスターターキットとして入手可能で、より多くの開発者が取得してカスタマイズできるように公開されている。

次世代の GDP は、「オープン」で開発され 2016 年にリリース予定。現行の GDP で利用可能な機能に加え、RVI と SOTA ソリューションおよびツール、プラットフォーム・イメージの継続アップデート、個別のコンポーネントなどの複数のコネクティビティー・オプションを備え、ワールドクラスの納入と「着手」エクスペリエンス(ソフトウェア、ハードウェア双方)を提供する。



新たな GENIVI GDP が完成すれば、開発者がそれぞれの経営陣にイノベーションおよび将来展望を示す際の事実上のプラットフォームになるだけでなく、IVI エコシステムにおけるエンジニアリング・イノベーションの重要な促進役を担うことになる。

###

GENIVI アライアンスについて

GENIVI アライアンスは、オープンソース開発ソフトウェアの広範な採用を促進することに力を注ぐ非営利業界団体である。GENIVI の取り組みにより、開発サイクルの短縮、製品の市場投入の迅速化、IVI 機器やソフトウェアの開発における企業のコスト削減に繋がる。GENIVI は 150 社以上の会員企業で構成されており、本部はカリフォルニア州サンラモンにある。詳細は www.genivi.org を参照してください。

報道関係者お問い合わせ先 - GENIVI アライアンス:
Craig Miner (クレイグ・マイナー)
248.840.8368
cminer@quell.com